

自然エネルギー**100%**の**四国**へ

# 日常化する異常気象と 気候変動対策は 待ったなし

2018年の夏は猛暑と豪雨と台風が各地で甚大な被害をもたらしました。特に愛媛県でも集中豪雨の被害は大きく、多くの方が被災しました。異常気象は日常化し、温暖化の進行によって、今後益々気候リスクは高まっていくとされています。

そんな中、パリ協定に基づき世界は「脱炭素社会」を目指し、企業や地域や市民が「自然エネルギー100%」を目指しはじめました。日本では、どこよりも早く自然エネルギー100%を実現したのが四国でした。

しかし、一方で、四国では伊方原発の再稼働問題や、西条市における大規模石炭火力発電所の建設計画が浮上するなど、エネルギーを巡って様々な動きが見られます。今、世界がエネルギーをめぐるどう変化しているのか、私たちの生活とどう関係するのか、そして四国で本当に原発や石炭が必要なのかを考えていきたいと思います。

日時

2018年**11月25日(日)** 13:30 ~ 16:30 (受付: 13:15)

会場

ホテルマイステイズ松山 (TKP松山カンファレンスセンター)・エテルノ (定員32人)  
(愛媛県松山市大手町1-10-10 / 松山駅徒歩8分)

内容

## 1. 講演

### ① 自然エネルギー100%に向かう世界と日本

——すでに四国でも自然エネルギー100%を達成した!?——

松原弘直 (環境エネルギー政策研究所首席研究員)

### ② 気候変動とパリ協定と石炭火力

——西条の石炭火力発電所の新設は必要か?——

桃井貴子 (気候ネットワーク東京事務所長)

### ③ 原発は温暖化対策にならない

——伊方原発をめぐる昨今の課題から——

小倉正 (原発さよなら四国ネットワーク)

## 2. 質疑と意見交換

主催: 気候ネットワーク 参加費: 無料

申し込み: 申し込みサイトからご登録するか、



申し込みサイト

①お名前 ②ふりがな ③ご所属 ④ご連絡先 (Eメールアドレス、電話番号等)

⑤その他メッセージ等 (任意) を添えて、下の問合せ先まで御連絡ください。

申し込みされていない場合でも当日ご参加いただけます。

問合せ先: 気候ネットワーク 東京事務所

TEL: 03-3263-9210 E-mail: tokyo@kiconet.org

げんばつ  
も  
やめよう!



環境省キャラクター  
ゼロノスクマ

みんなで  
一緒に  
考えよう!



アンチカーボン